

小学生とSDGsゲーム

夏休み中、小学生向けに summer school を実施しているところで、小学校1年生と3年生でSDGsのカードゲームをやってみました。数年前に名古屋市の区役所さん、中学校の先生と作成したSDGsのカードゲームです。ゲームでまちの未来を考えることができました。

☆SDGsのカードゲーム

架空の市（キタキタ市）の総合計画をカードのコンテンツにして、自分の目標とまちの目標を達成させるというものです。めざすまちにするために、メンバーが協力して、事業を行っていきます。

作成にあたっては、まちを表す項目を何に設定するのか？の検討から始まりました。ゲームをするのは子どもたちと設定しているので、「子ども」の項目も入れました。一番大きな課題は、なぜか、経済・観光のポイントが突出して高くなってしまい、どうバランスをとるか？でした。

もちろん、中学校で初！開催しました。

☆小学6年生では

総合学習の授業でやってみることに。このときは、2ラウンド行いました。1ラウンドめは前後半に分けて、前半は自分の目標達成のためにコツコツと進め、後半はグループで「こんなまちにしたいね」を話し合い、協力しあってまちをつくっていきました。後半の、自分たちが考えるまちになるよう、協力してゲームをする！というのが、やりがいや達成感もひとしおだったようです。

2ラウンドめは、はじめから自分たちで、どんなまちにしたいのか？を話し合い、ルールも自分たちで決めて進めました。なんと、1ラウンドめ以上に盛り上がり、ゲームだけでなく、自分たちの考えたまちになっていくのを楽しんでくれました。この感覚を忘れないでいてほしいです。

☆summer schoolでは

小学校3年生2人と1年生1人で行いました。1ラウンド後半では、3年生が話し合い、それを1年生にも伝えると、3人でちゃんとめざすまちをつくっていきました。もう一回やりたいとのリクエストで、こちらも、6年生と同様に、はじめから目指すまちを考え、ルールも自分たちで決めて行いました。最終的にはめざすまちになっていました。ゲームの力を再認識しました。

*ゲーミフィケーションという言葉聞くようになって久しいです。楽しみながら学ぶということは、ゲームそのものではなくても、ちょっとした工夫、「遊び心」をもってやってみることが必要なんだなぁと思いました。記憶にも残りやすいような気がします。

